



新会長としての挨拶

熊本県立翔陽高等学校 同窓会
会長 宮崎 栄喜
昭和四十八年卒

平成二十九年も早や二ヶ月が過ぎようとしています。が、皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。同窓会の皆様、そして長年本同窓会に対しましてご協力頂いています方々には、初めてのご挨拶となる方も多いたいと思いますが、昨年十一月十八日の同窓会総会におきまして、新会長に推薦され、この度会長となりました宮崎栄喜と申します。私は昭和四十八年三月に当時の大津産業高校第一期生として本校を卒業、卒業後は日本大学を経て日本中央競馬会に三十七年勤務して、三年前に熊本に帰つてきました。社会人時代は一九八六年のアジア大会、そして一九八八年のソウルオリンピック・一九九二年のバルセロナオリンピック馬術競技に出席することができ、その都度本校や同窓会から多大な応援とご声援を頂くと共に、オリンピック出場後は本校体育館前に記念されました。そして、去る十二月十五日、役員会開催の際に、感謝の意をお伝えされました。

碑や記念樹を設けて頂きました。私の人生は馬術を中心であり、馬術に巡り会つた事で国内外で色々な経験をし、多くのことを学びました。帰熊してからは、私の人生の基礎作りとなつた本校馬術部への恩返しと共に、同窓会へのお礼の気持ちで監査役の立場で協力させて頂いておりました。その様な中、今回会長という重職となりましたが同窓会の発展に少しでも貢献できればと思つております。

昨年は熊本地震等、思いもしなかつた大きな自然災害に見舞われ、同窓会の皆様や現役の生徒にも多大な被害があり、現在も住居や交通手段等、不便な生活を続けておられる方も多いと思いますが、本年は色々な面で熊本の復興、そして新たな発展に向けた年になればと思ひます。

本校では三月一日に二百六十五名が卒業式を迎える同窓会会員となられるとともに、久保田さんが会長に就任されて以来、生徒への挨拶運動や、夏課外への激励など多くの取り組みを実行さ

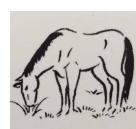
えすると共に、感謝状と記念品の授与式を行いました。

もに、新たな人生への旅立ちをします。卒業生の皆様には本校で三年間学び色々な事を経験し、その中で築いてきた知識や技術、そして自信と自覚を持ち、自分の夢や目指す人生に向かって更に努力、邁進して頂きたいと思います。

本同窓会は今後も、会員相互の扶助と親睦、母校の発展に寄与する」を目的として活動を続けて行きます。今後とも会員の皆様や学校関係者、また長年ご協力を頂いています多くの方々には引き続き、「指導」「協力」のほど宜しくお願ひいたします。

最後になりましたが、皆様方の益々のご健康ご多幸をお祈り申し上げ、挨拶とさせて頂きます。

（左）退任挨拶



役員とともに 久保田さん（左）と米村さん（右）

会長	昭48	宮崎 栄喜
副会長	昭42	岡 則一
"	昭44	府内 隆博
"	昭46	大塚 るい子
"	昭48	松田 三津代
"	昭48	佐藤 竜巳
監査	昭48	合志 久仁行
"	昭53	村上 高志
"	昭57	今村 竜喜
幹事長	昭49	渡辺 守行
副幹事長	昭44	本田 昭憲
幹事	昭50	上野 勝志
"	昭51	原田 勇
"	昭51	坂本 敦子
"	昭63	池田 憲昭

同窓会役員が新しいメンバーに――

同窓会役員質

A close-up photograph of a plum blossom branch against a clear blue sky. The branch is bare with several clusters of small, light pink blossoms.

同窓会新聞 もくせい
もホームページでの閲覧が
可能になり、新聞を手作り
にして二回目の発行になります。
今後も先輩方が続けて
こられた新聞の発行を守
つていく所存です。
よろしくお願ひいたしま
す！

東部実業から肺を腫んで重ね、大津農業高校、大津産業高校、そして翔陽高校と校名は変わりました。が、我が母校として見守ってきました。これらは、同窓会の幹事長として、母校の発展のために頑張って

の鶴の一声ならぬ馬の嘶き
いななき)でした。私と
宮崎さんの間柄は、馬術部
の先輩・後輩の関係で、今
まで四十年以上の付き合い
です。その先輩からのお願
いですでの、幹事長をお引
き受けした次第です。

皆さん初めまして。本年度から幹事長を仰せつかれた渡辺守行と申します。

私は大津農業高校農業科、最後の入学生で大津産業高校に改名し、第一期生にあたります。ちなみに新会長の宮崎栄喜さんは、大津産業高校第一期生です。

私が幹事長のお役を頂いた理由は、会長の宮崎さ

編集後記

皆さん初めまして。本年度から幹事長を仰せつかつて、度々ご連絡を頂いてます。